

第6回

～ 生活支援コーディネーター通信 ～

むすび



こちらでは生活支援コーディネーターが見聞きしたことを連載でお伝えしていきます。
今回は令和7年1月30日に開催しました地域づくり講演会をお伝えします。
この講演会は人口減少や少子化により新冠町でも多くの地域で担い手不足が課題となっているため札幌市で活動されている「日常生活支援あつべつ・たすけ愛ふくろう」代表の澤出桃姫子さんを講師に招き、人口減少による影響や助け合い活動の必要性についてご講演いただきました。
毎日の暮らしの中で必要なことや、なぜ助け合いが必要なのかなど、ご講演いただいたことを掲載しましたので参考にしてみてください！

令和6年度地域づくり後援会の開催

人口減少等による新冠町の展望や住民相互による助け合い活動の必要性を学び、今後の地域づくりのきっかけになることを目的に開催しました！

- 開催日 令和7年1月30日（木）13時30分からし・コード館で開催
参加者 56名：自治会長3名、民生委員3名、福祉関係団体25名、福祉委員1名
行政職員8名、サロン実施者2名、その他14名
講演内容 助け合いによる地域づくりと町づくり
・地域の変動に沿った地域づくり
・たすけ愛ふくろうの活動から見えたこと
・近い未来を安心して迎えるためになぜ助け合いが必要なのか

自分たちの地域は自分たちの手で！
自分が選んだ大好きな地域で最後まで
自分らしく安心して暮らせる
ような地域に！



日常生活支援あつべつ・たすけ愛ふくろう
代表 澤出桃姫子（さわでときこ）氏

講演にあった点を紹介します！

毎日の暮らしの中で必要な5つのこと

- ①安心の確保（見守り、相談の場）
- ②日常的に家事（調理、掃除、洗濯）
- ③外出（通院、買物）
- ④交流（知人、地域の集まり、老人会）
- ⑤日常生活で不意に起こること
（蛍光灯の取替え、ペットボトルの蓋開け）

多くの参加者からは大変参考になったとの感想も寄せられており、新冠町に「**地域づくりの種**」が植えられた機会となりました。

みなさんの**少しなら手伝えることが結びつくこと**で助け合いが生まれていきます！

この種が花となりしっかり咲くよう
今後もこのような講演会を開催して
いきますので、住民自身による地域
づくりを進めていきましょう。

